



もっと日本を。もっと世界へ。



国学院大学



渡来文化 ネットワーク・サミット in 東京

東アジアの 国際交流

— 古代から未来へ —



2016年度



高麗郡建郡1300年記念事業

日時

2016年9月3日(土)
10:00~16:00

会場

国学院大学
学術メディアセンター1階
常磐松ホール (東京都渋谷区東4-10-28)

定員

150名(先着順)

お問い合わせ先 Tel: 042-978-7432

〒350-1231 埼玉県日高市鹿山283-5-201
一般社団法人 高麗1300 事務局

お申し込み方法 申込フォーム

※詳細は裏面、一般社団法人高麗1300または国学院大学のホームページをご覧ください

主催 ● 一般社団法人 高麗1300、国学院大学博物館
特別協力 ● 高麗神社
後援 ● 埼玉県、日高市、日高市教育委員会、駐日韓国大使館 韓国文化院



平成28年度文化庁「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」

日本全国には、東アジアからの渡来人の足跡が数多く残されています。そのうち、旧武蔵国むさしのくにのほぼ中央に位置する埼玉県日高市・飯能市周辺では、霊亀2年(716)に1799名の高麗人こまびと(高句麗人)が遷されて高麗郡こまぐんが設けられました。

2016年は、高麗郡の建郡から1300年目になります。

この節目の年にあたり、国学院大学博物館と(一社)高麗1300では、渡来文化と日本文化に関する最新の研究成果を明らかにするとともに、朝鮮半島から渡来した人々に縁のある地で地域づくり活動を推進している団体の事例からさらなる地域連携を図るためのサミットを開催することとしました。我が国の代表的な国際都市である東京・渋谷から、東アジアの古代史を専門とする研究者による講演会や、各地域の団体による取り組みの発表等を通して、学術振興と地域発展、そして国際親善のメッセージを発信します。

午前

記念講演1

「渡来人」と日韓関係の未来

国学院大学文学部助教 山崎 雅稔

記念講演2

「渡来人」と「日本人」

関東学院大学経済学部教授 田中 史生

午後

事例発表

代表事例紹介 奈良県明日香村長 森川 裕一

各地域団体事例発表

内容は、都合により予告なく変更する場合があります。

渡来文化 ネットワーク・サミット in 東京

東アジアの国際交流 — 古代から未来へ —

～2016年度 高麗郡建郡1300年記念事業～

記念講演

1 「渡来人」と日韓関係の未来

【講演内容】 渡来人研究・渡来人論が新しい日韓関係の構築にどのように寄与してきたか、90年代後半から昨今にいたる日韓両国の歴史教育の動向を振り返りつつ、今後の展望・課題に触れていく。

國學院大學
文学部助教

やまざき まさとし
山崎 雅稔

東京学芸大学教育学部卒業、國學院大學大学院文学研究科博士課程後期単位取得退学。現在、國學院大學文学部助教。専門は古代日韓関係史。著書に『日韓交流の歴史—先史から現代まで—』（共著、明石書店）など。



記念講演

2 「渡来人」と「日本人」

【講演内容】 渡来人研究が「日本」「日本人」とは何かという問いと深く結びついて進展した研究分野であったこと、また最新の研究成果をふまえて、今後の私たちが渡来人をどう捉えていくべきかについて考える。

関東学院大学
経済学部教授

たなか ふみお
田中 史生

早稲田大学第一文学部卒業。國學院大學大学院文学研究科博士課程後期終了。博士（歴史学）。現在、関東学院大学経済学部教授。専門は古代日本の国際交流史。著書に『日本古代国家の民族支配と渡来人』（校倉書房）、『倭国と渡来人』（吉川弘文館）、『越境の古代史』（ちくま新書）、『国際交易の古代列島』（角川選書）など。



事例発表

【発表内容】 奈良県明日香村森川裕一村長により先進的取り組み事例と、古代東アジアからの渡来人・渡来文化縁の地で、その歴史を元に地域活動を行っている団体による事例発表を踏まえ、「地域の特徴」「これまでの活動事例」「これからの展望」について意見交換を行う。

奈良県明日香村長
もりかわ ゆういち
森川 裕一

京都大学大学院工学研究科修了。1981年奈良県庁入庁。2011年9月公立学校法人奈良県立医科大学退職。

2011年10月明日香村長に当選し、現在2期目。



【各地域団体事例発表参加団体】

- 歴史と文化を学ぶ会（群馬県高崎市）
- 信州渡来人倶楽部（長野県松本市）
- 近江渡来人倶楽部（滋賀県大津市）
- 百済の会（大阪府枚方市）
- 一般社団法人高麗1300（埼玉県日高市）

【モデレータ】

國學院大學博物館准教授 **深澤 太郎**

國學院大學博物館

会場となる國學院大學の博物館は、1928年創設の「考古学陳列室」や、1963年創設の「神道学資料室」などを前身とし、2013年に「國學院大學博物館」としてリニューアルしました。常設展には、考古・神道・校史のコーナーを設け、日本の文化と歴史を多様な資料で発信しています。また、このサミットにあわせ、企画展「日本に根付いた渡来人—高麗郡と高麗神社」（9月3日～10月10日）も開催します。

（一社）高麗1300

高麗郡建郡1300年記念に向け、市民有志が2011年に設立した「高麗郡建郡1300年記念事業委員会」は、2015年から「一般社団法人高麗1300」として継続的・発展的な活動を推進しています。高麗郡を建郡した先人の足跡を顧み、その歴史と文化に光をあて、未来へつなぐ礎として、旧高麗郡と関連する地域の広域観光・文化交流・国際交流を中心に、地域の振興と活性化を目指しています。

お申込方法

* 先着順により定員に達次第、応募を締め切らせていただきます。

申込フォームの場合

一般社団法人高麗1300または國學院大學のホームページのイベント一覧ページより本イベントページに進み、お申し込みください。

FAXの場合

①氏名 ②郵便番号 ③住所 ④電話番号 ⑤「渡来文化ネットワーク・サミット」参加希望を明記の上、下記までお送りください。

〈個人情報の取り扱いについて〉 お申し込みの際にご提供いただいたお客様の個人情報は、本イベントの目的以外では利用いたしません。また、利用目的に照らして不要となった個人情報については、速やかに且つ適正に削除・廃棄いたします。お客様の個人情報をお客様の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません。（法令などにより開示を求められた場合を除きます）

〈FAX用フォーム〉「渡来文化ネットワーク・サミット in 東京」参加申込

〈FAX送信先〉 **042-978-7452**

※記入必須項目

（一般社団法人高麗1300）

フリガナ ※		性別	年齢
お名前 ※		電話番号 ※	
住所 ※ 〒		FAX番号 ※	
メールアドレス			

國學院大學博物館 企画展

常設展示

武蔵国高麗郡 建郡1300年 **日本に根付いた渡来人 —高麗郡と高麗神社—**

会期：平成28年9月3日（土）～平成28年10月10日（月・祝） 会場：國學院大學博物館

考古、神道、校史

國學院大學博物館（入館無料）は10時から18時（入館は17時半）までの開館です。

ミュージアムトーク

平成28年9月24日（土）14：00～14：30 高麗 文康（高麗神社宮司）、深澤 太郎（國學院大學博物館准教授）